

# いこい通信

第19号  
2024年2月

発行 一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム

「いこい通信」は、宮城県内で避難者支援にあたられている方々に、福島県からの県外避難者（広域避難者）の置かれている状況や、宮城県内・他地域における支援活動の様子等をお伝えする情報紙として発行しています。自らの意思に反して全国への分散避難を余儀なくされた方々が、避難先で適切な支援につながっていくための一助となることを目的としています。

## ■ ふくしま仙台サロン 2023年度開催レポート（2）

福島県から宮城県内に避難されている皆さんの定期交流会「ふくしま仙台サロン」。気候の良い秋季には仙台市内で街歩きをしたり、冬季には屋内で生け花サロンをしたりと、時期に応じて内容を工夫して開催しています。

○9月29日

「仙台市内街歩き企画①仙台市野草園を散策」  
(参加者7名)

仙台市営バスを活用して、仙台市太白区の大年寺山にある「仙台市野草園」と、同じく太白区の愛宕山にある「愛宕神社」を訪れました。愛宕山から仙台市街地を一望した後、仙台市中心部に移動してランチ会を行いました。



○10月18日

「仙台市内街歩き企画②少し昔の仙台の残滓を求めて」  
(参加者5名)

JR 仙台駅を発着地として駅の東口（宮城野区榴岡）エリアを散策しました。榴岡公園とその中にある仙台市歴史民俗資料館を見学、近くの榴岡天満宮にお参りしました。その後、仙石線が地下化する前のルートに沿って街歩きし、街の変化を実感しました。



○1月17日

「新年生け花交流会」 (参加者14名)

「つなげよう花の心」実行委員会の皆さんにご支援いただき新春の生け花をしました。雪柳、カーネーション、菜の花と春を感じる花材で生け花をした後、先生のデモンストレーションを見学しました。その後、ランチ会をしながら、今年度残りのサロンなどについて話し合いました。



これらの交流会は2023年度福島県県外避難者帰還・生活再建支援補助金の支援を受けて開催しました。